



税関タグボート「梅丸」船上の税関職員（大.8.5）

新港突堤の稼働に伴い税関にタグボートが備えられ、船舶の離着岸に活躍した。大正後期には、「梅丸」（185トン、820馬力）、「菊丸」（169トン、675馬力）、神戸港築港のケーソン曳行用に建造された「築島丸」（114トン、280馬力）があった。



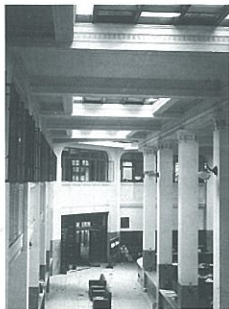
全国初の婦人検査官登場（大.11.11）

第一次世界大戦の終結とともに増加した外人観光客、とりわけ婦人の検査に大活躍。最盛期には17～18人に達した。



統計課執務風景（昭和初期）

本庁舎3階、現在の輸入部調査部門



本庁舎1階業者溜り（昭和初期）

上部に明かり採りの天窓があった。



神戸税関官用車第1号 米国製「プリムス」

当関に自動車が配備されたのは大正12年である。戦前の最盛期には乗用車4台とトラック1台があった。